

企業名⇒

# 兵庫南農業協同組合(JA兵庫南)



ひとことPR⇒ 離職率0% ★月平均残業時間3.89H 『ひょうご仕事と生活の調和推進企業』に認定されました



## ①事業所PR

わたしたちJA兵庫南は、明石市・加古川市・高砂市・稲美町・播磨町をエリアに暮らしを支えるさまざまな事業を展開しています。地域の産業の一つである農業の振興を柱に、地産地消や食の大切さを発信しているほか、地域で安心できる暮らしづくりに力を注いでいます。地域のみなさまの毎日の暮らしを一緒に豊かにしていきます！

## ②企業概要

本社所在地：兵庫県加古川市加古川町  
寺家町621番地  
設立：1999年  
従業員数：613名  
平均年齢：40.1歳

## ③事業内容

信用(金融)事業、共済(保険)事業、  
営農事業(営農指導、農業用資材の供給、農畜  
産物の販売)、他

## ④我が社の目指すビジョン

兵庫南農業協同組合(JA兵庫南)は、「世代を超えて選ばれるJA」を目指し、金融・共済・不動産などの財産管理を組合員のライフサイクルに応じて提案するとともに、組織活動やSDGsにも積極的に取り組んでいます。そんな私たちのビジョンは、「組合員とともに繁栄し、安心・安全・安定を共有するJAづくりと、人・農業・自然が共生できる地域社会づくり」です。地域の発展に貢献するために、各職員たちは常に地域の方々に寄り添い、最適なサービスの提供と、より良い生活を送っていただくためのお手伝いに力を注いでいます。

## ⑤こんな先輩が活躍しています

組合員・利用者のニーズが多様化し、多岐に渡るようになってきました。ワンストップで相談業務が行えるよう、税金の知識はもちろん年金、投資信託、社会保険幅広い知識が必要です。銀行業務検定試験やFP試験、宅建などの資格にもどんどんチャレンジしています。職員は、常に感謝の念を持ち、何事にもチャレンジの姿勢を忘れず、自ら考え責任ある行動ができる職員を目指しています。

## ⑥これがあるから働きやすい

新人が少しでも早く職場や業務に慣れるようにルーキーサポーター制度を設けています。新人ひとりひとりにサポーターを選任し、悩みや業務の相談にのっています。新任担当者の業務研修がそれぞれの業務に対して実施されます。また受講したい研修や資格、通信教育を自分で選択することができ、自己啓発にてリスキリングができます。

## ⑦採用担当者からみなさんへ

全国の大卒者の入社3年までの離職率は32.8%とされています。仕事を辞めなくなった理由の24.8%が「人間関係がうまくいかなかったから」となっています。採用されたあと、悩んだり苦しい時に支えてくれる職場風土なのか、その体制がある企業なのか。苦勞して掴んだ内定先が長く勤められる企業なのか、ぜひその企業の職場風土も観察してみてください。詳しくはブースにてお話をさせていただきます。

連絡先  
(担当者)

〒675-0066  
加古川市加古川町寺家町621番地

☎ 079-424-8041  
担当：中村

企業ホームページURL：  
<http://www.ja-hyogominami.com/>

認定制度  
・ ひょうご仕事と生活の調和推進企業  
・

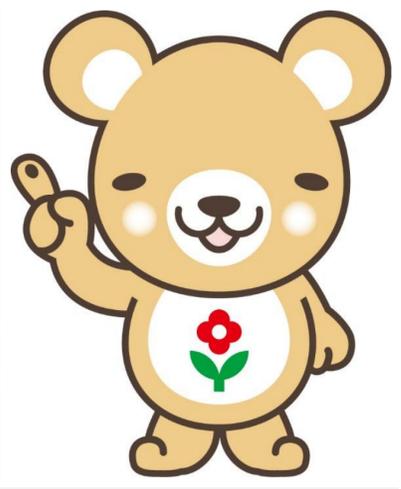


地域の重要な産業であり、大切な食を支える農業の振興に取り組んでいます。農家の所得向上に向けた支援、特産品の開発、新規就農者の育成、学校給食への地元産野菜の提供など、地域の農業の発展に力を注いでいます。



## 営農経済事業

おいしい農産物づくりとその供給



## 信用・共済事業

みんなのJAバンク  
「ひと・いえ・くるま」のJA共済

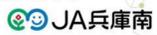


### JAバンク

全国に民間最大級の店舗網を展開しているJAバンクの一員として、組合員はもちろん、地域の皆さまにより身近で便利、そして安心なメインバンクとなるよう金融サービスを提供しています。

### JA共済

「ひと・いえ・くるまの総合保障」を通じて、それぞれの目的やライフプランに応じて充実した保障を提供し、皆さまの毎日の暮らしをバックアップしています。



ひょうご仕事と生活の調和推進認定企業に認定



兵庫県内の企業546社が認定を受けています

兵庫県下のJAではJA兵庫南のみ

・ワーク・ライフ・バランス（WLB）の推進を図るため、多様な働き方の導入や、仕事と家庭生活の両立の促進、多様な人材の活用等の先進的な取組を実施している企業・団体が認定を受けています



ご存知でしたか？  
JA兵庫南管内は、県内有数の大麦の産地です。



JA兵庫南が、生産農家さんといっしょに30年以上かけて特産化を実現。今では地域を代表する作物になりました。

JA兵庫南では、農業と福祉の連携に取り組んでいます。



六条大麦ストローは、障がい者福祉事業所の皆さんが外皮剥きやカット作業を1本1本丁寧に作った麦わらを使用しています。

JA兵庫南は、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



麦わらストローは、海洋プラスチック問題の解決にも一役かかっています。パッケージは、分別しやすく、古紙と植物油インキを使用しました。

JA兵庫南で収穫された六条大麦の麦わらをストローにしました。



2022年 グッドデザイン賞受賞



# JA兵庫南